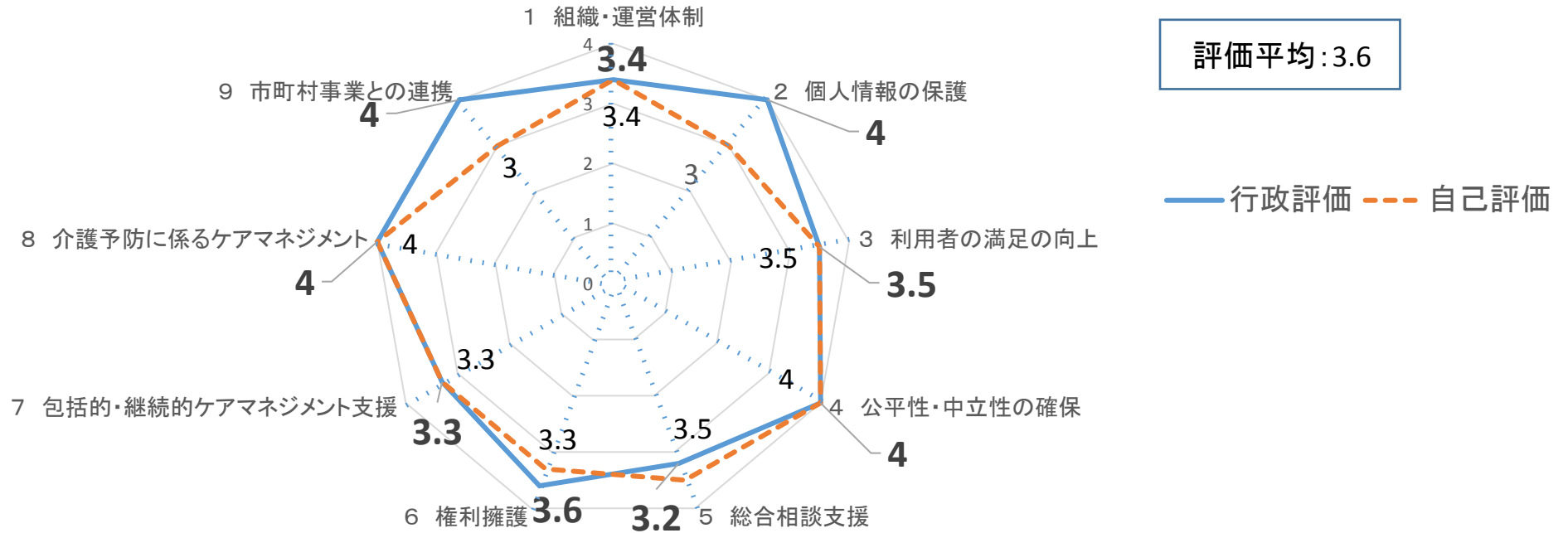


## 平成 29 年度地域包括支援センター運営評価結果の概要

### 【カテゴリーと評価項目の対応関係】

- 1 組織・運営体制 : 評価項目1(1)～(5)
- 2 個人情報の保護 : 評価項目2(1)
- 3 利用者満足の上向 : 評価項目3(1)～(2)
- 4 公平性・中立性の確保 : 評価項目4(1)
- 5 総合相談支援 : 評価項目5(1)～(3)
- 6 権利擁護 : 評価項目6(1)～(3)
- 7 包括的・継続的ケアマネジメント支援 : 評価項目 7(1)～(2)
- 8 介護予防に係るケアマネジメント : 評価項目 8(1)
- 9 市町村事業との連携 : 評価項目9(1)～(2)

## ①地域包括支援センターおきだて 平成29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1)総評: 全体的にバランスよく取り組まれているが、「総合相談支援」における相談内容の分析、社会資源に関するマップやリストの見直しに関する取組があまり強くない。

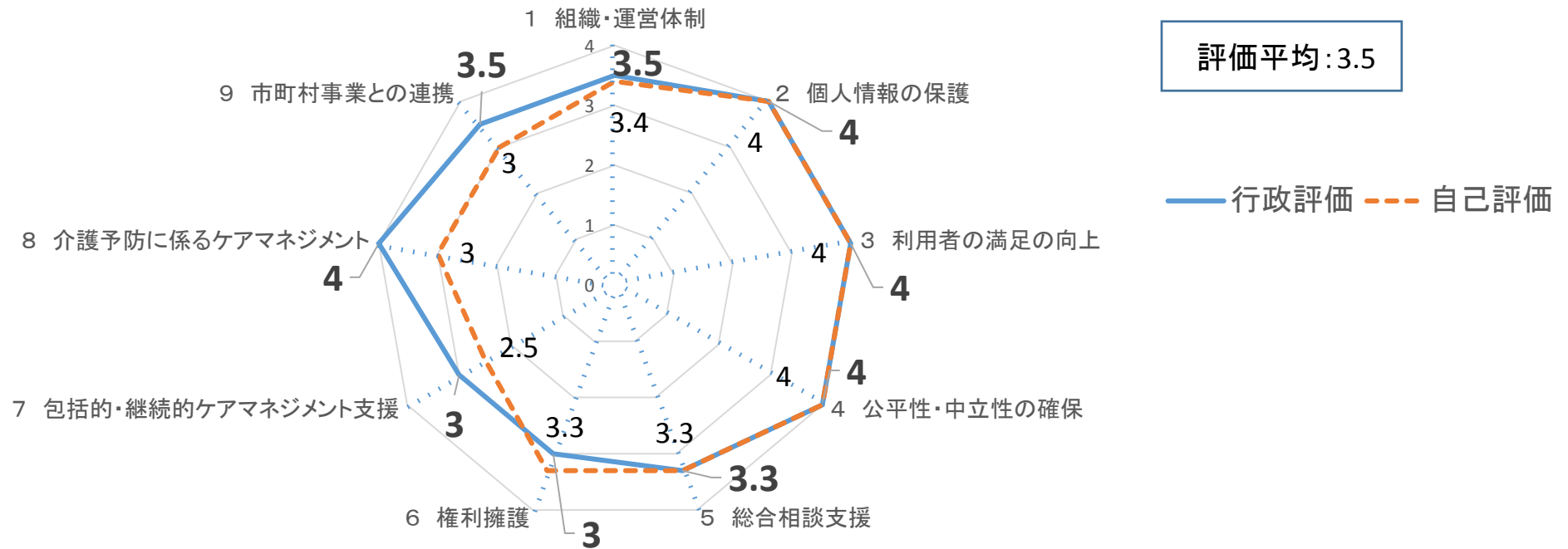
### (2)主な好事例

- ・ 出前講座が可能なものをメニュー化し、チラシに掲載してPRしている。

### (3)主な課題

- ・ 地域ケア会議が平日の日中帯のみの開催のため、医療関係者の参加が難しい。
- ・ 社会資源のマップやリストの見直しが毎年ではなく、2年に1度のペースになっている。

## ②地域包括支援センターすずかけ 平成29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1) 総評: 「総合相談支援」における社会資源のマップ等の見直し、「権利擁護」の消費者被害に関する啓発活動、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の地域ケア会議の取組が他に比べあまり強くない。

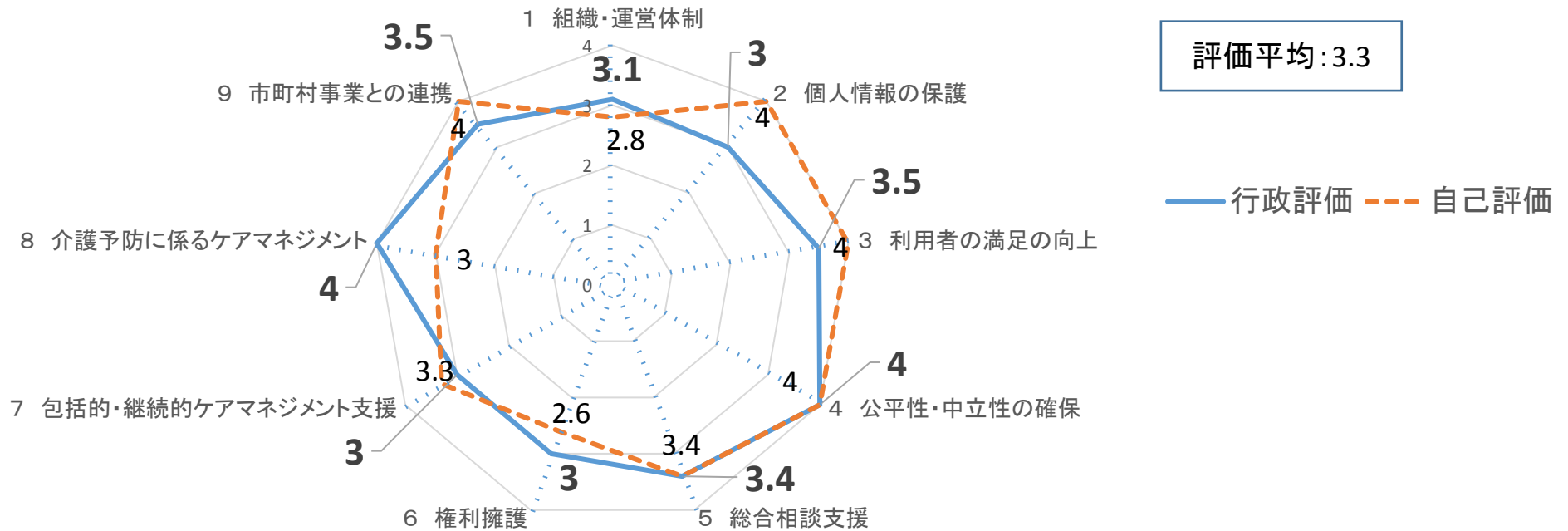
### (2) 主な好事例

- ・研修はセンターとして知識を得るため、専門性にとらわれることなく、さまざまな研修に参加できる体制をとっている。
- ・ケース記録を「高齢者虐待」「困難ケース」「未決ケース」に分け保管・管理されている。

### (3) 主な課題

- ・社会資源のマップやリストの見直しが行われていない
- ・高齢者虐待、消費者被害について、専門職・地域住民双方への啓発活動が行われていない。
- ・規定回数以上、地域ケア会議を開催できていない。

### ③中央地域包括支援センター 平成29年度運営評価結果の概要



#### 【講評】

(1)総評:「公平性・中立性の確保」、「介護予防に係るケアマネジメント」の取組は強い。「組織・運営体制」における事業計画の作成、「個人情報の保護」におけるマニュアルの整備、「権利擁護」の消費者被害に関する取組、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の地域ケア会議に関して、あまり強くない。

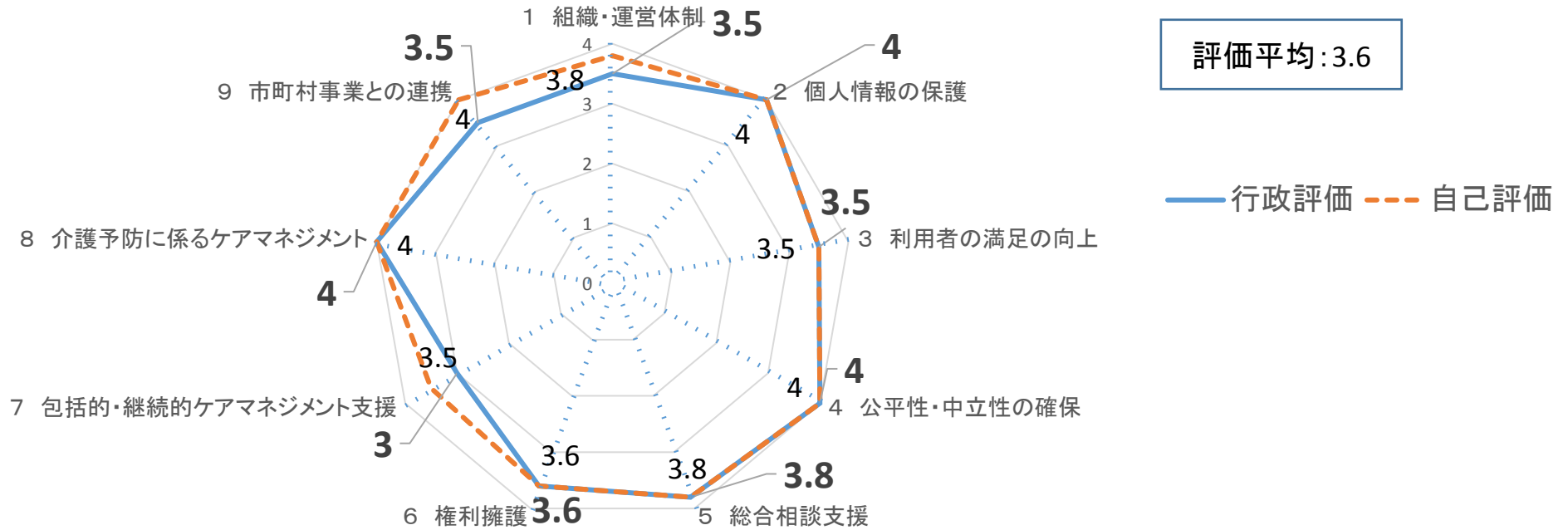
#### (2)主な好事例

- ・圏域に所在している団体の活動支援や町会の行事への積極的な参加により、すぐに相談できる関係性を構築している。

#### (3)主な課題

- ・社会資源のマップやリストの見直しが行われていない
- ・相談室に仕切りを設ける等の配慮がなされていない。
- ・日常生活圏域ケア会議が情報共有、研修の場に留まっており、課題の検討に至っていない。

#### ④東青森地域包括支援センター 平成29年度運営評価結果の概要



#### 【講評】

(1) 総評: 全体的によく取り組まれているが、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の地域ケア会議に関して他に比べるとあまり強くない。

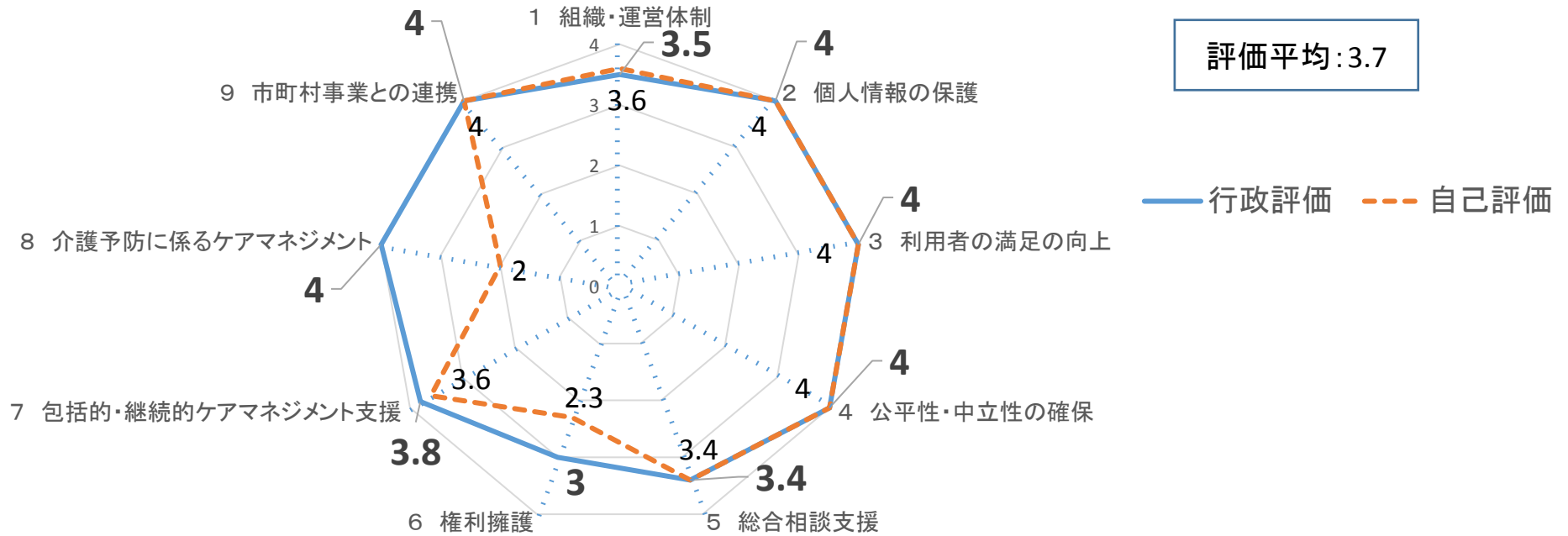
#### (2) 主な好事例

- ・社用車に社名を掲載せず、相談者へ配慮している。
- ・地域ケア個別会議開催前には、担当ケアマネジャーとともに対象者宅を訪問し、ニーズや課題の把握を行っている。

#### (3) 主な課題

- ・圏域の介護支援専門員の課題の分析が行われていない。
- ・日常生活圏域ケア会議で具体的な課題の検討がされていない。

## ⑤南地域包括支援センター 29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1)総評: 「個人情報の保護」、「利用者の満足の向上」、「公平性・中立性の確保」、「介護予防に係るケアマネジメント」に関する取組に強さがある。「権利擁護」に関して、消費者被害の啓発活動があまり強くない。

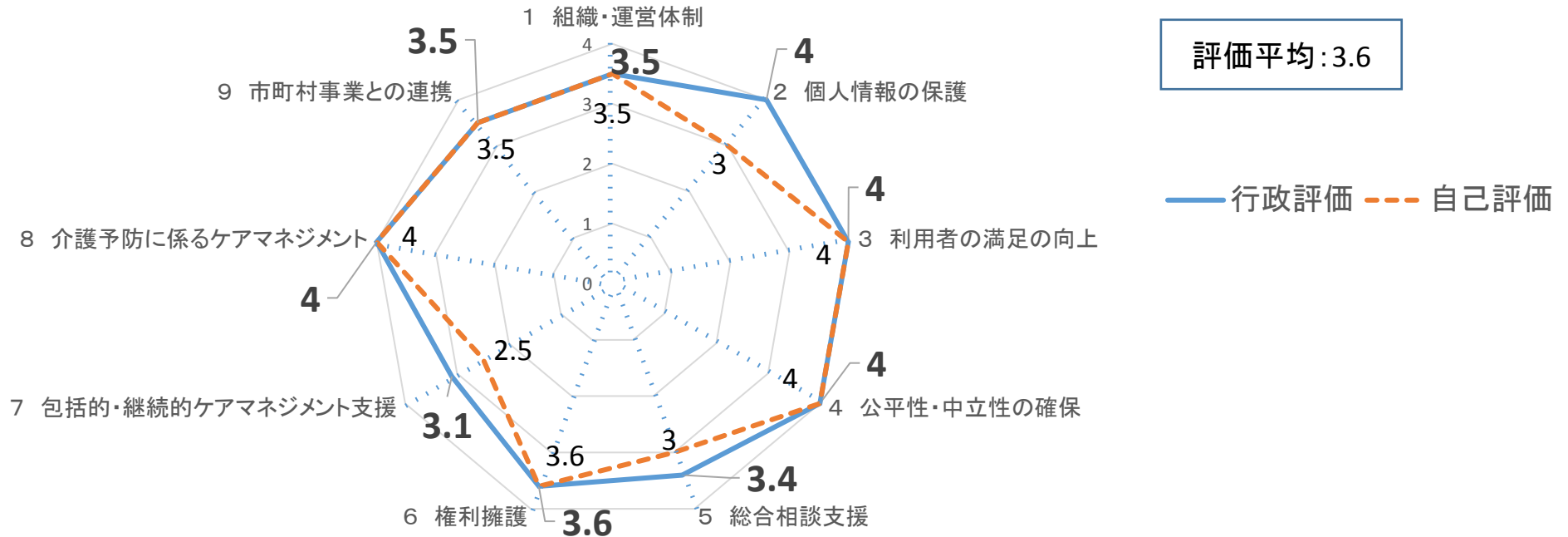
### (2)主な好事例

- ・介護サービス事業所に関する苦情があった際は、圏域内の介護サービス事業所に周知し、再発防止に努めている。
- ・例えば、がん末期のかたの退院支援の相談があった際に、あえて経験のない事業所へ支援を依頼し、同行訪問及び指導を行いながら、スキルアップを図る取組を行っている。

### (3)主な課題

- ・社会資源のマップやリストの見直しが行われていない
- ・権利擁護に関する地域住民向けの普及開発活動が行われていない。

## ⑥東部地域包括支援センター 平成29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1)総評: 全体的によく取り組まれているが、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」における介護支援専門員の課題の把握や分析についてあまり強くない。

### (2)主な好事例

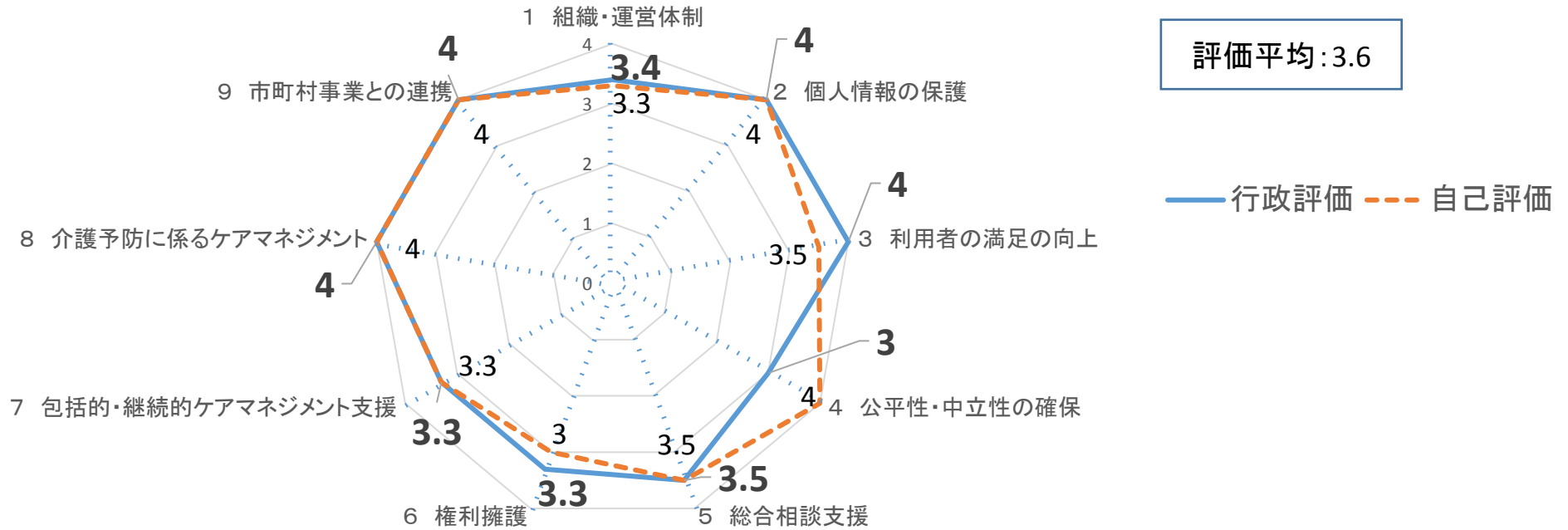
- ・相談者からの要望により、社名が掲載されていない社用車で訪問している。
- ・高齢者虐待に関する事例を高齢者介護相談協力員研修にて町会長、民生委員と共有し、役割等を確認している。
- ・グループホームで認知症カフェを開催し、認知症地域支援推進員だけでなく、認知症ケアの専門であるグループホーム職員も相談に対応している。

### (3)主な課題

- ・社会資源のマップやリストの見直しが行われていない
- ・消費者被害に関する啓発活動が行われていない。
- ・圏域の介護支援専門員の課題分析が行われていない。



## ⑦おおの地域包括支援センター 29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1) 総評: 「個人情報の保護」、「介護予防に係るケアマネジメント」、「市町村事業との連携」に強みがある一方で、「公平性・中立性の確保」について介護予防訪問介護の同一法人事業所利用率が50%を越えており、あまり強くない。

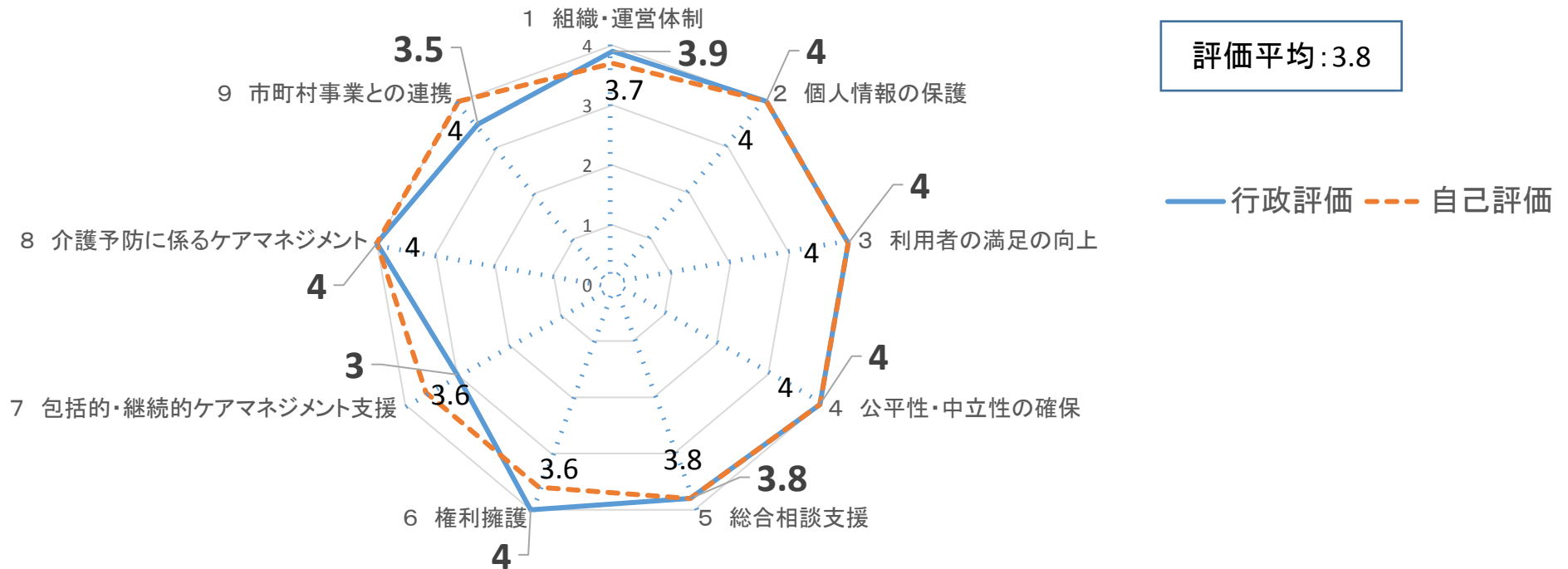
### (2) 主な好事例

- ・ 広報紙をカラー印刷に切り替え、地域住民の目に留まるよう工夫している。
- ・ 把握した地域の集いの場をリスト化した。
- ・ センター独自で認知症対応力向上を図るための圏域内サービス事業向けの研修を実施した。

### (3) 主な課題

- ・ 社会資源のマップやリストの見直しが行われていない。
- ・ 消費者被害に関する取組が不十分である。
- ・ 日常生活圏域ケア会議が実施されていない。

## ⑧地域包括支援センター寿永 29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1)総評:ほとんどの項目において、よく取り組まれているが、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」のみ取組があまり強くない。

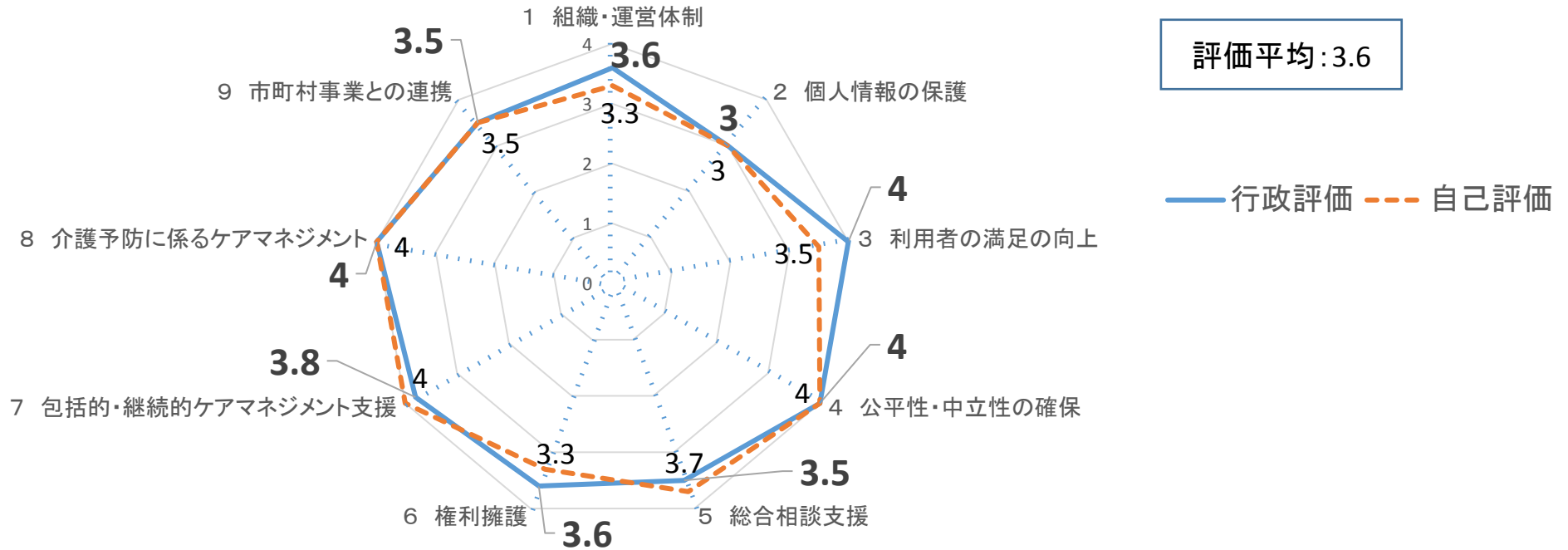
### (2)主な好事例

- ・認知症カフェや家族会に、認知症サポーター養成講座を受講したかたがボランティアとして関わっている。
- ・圏域内のケアマネジャー数、主任ケアマネジャー数、委託受入可能件数を把握し、委託先の選定の参考になっている。
- ・センターを知った経緯を把握し、周知方法の参考としている。

### (3)主な課題

- ・ケアマネジャーの課題の把握、分析が行われていない。
- ・地域課題の抽出、課題分析から日常生活圏域ケア会議が開催されていない。

## ⑨地域包括支援センターのぎわ 平成29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1) 総評: 全体的にバランスよく取り組んでおり、特に「利用者の満足の向上」、「公平性・中立性の確保」の取組について強みがあるが、「個人情報の保護」の取組があまり強くない。

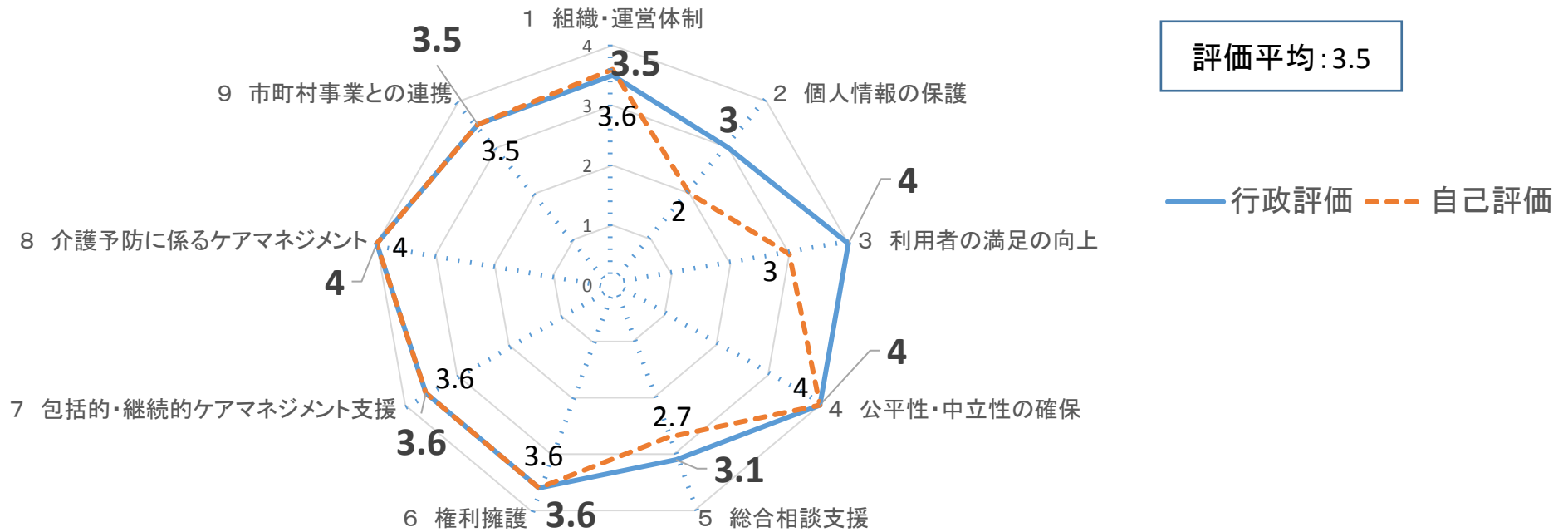
### (2) 主な好事例

- ・ 認知症サポーター受講者等がボランティアで認知症カフェ等の活動に協力している。
- ・ 居宅介護支援事業所へ委託受入可能件数を確認し、委託先の参考になっている。
- ・ 作成した社会資源マップ、リストを新規相談時に提示している。

### (3) 主な課題

- ・ 認知症ケアパスの普及活動の取組が行われていない。

## ⑩地域包括支援センターみちのく 平成29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1)総評: 「利用者の満足の向上」、「公平性・中立性の確保」に関する取組に強みがある一方で、「個人情報の保護」、「総合相談支援」に関する取組が他に比べあまり強くない。

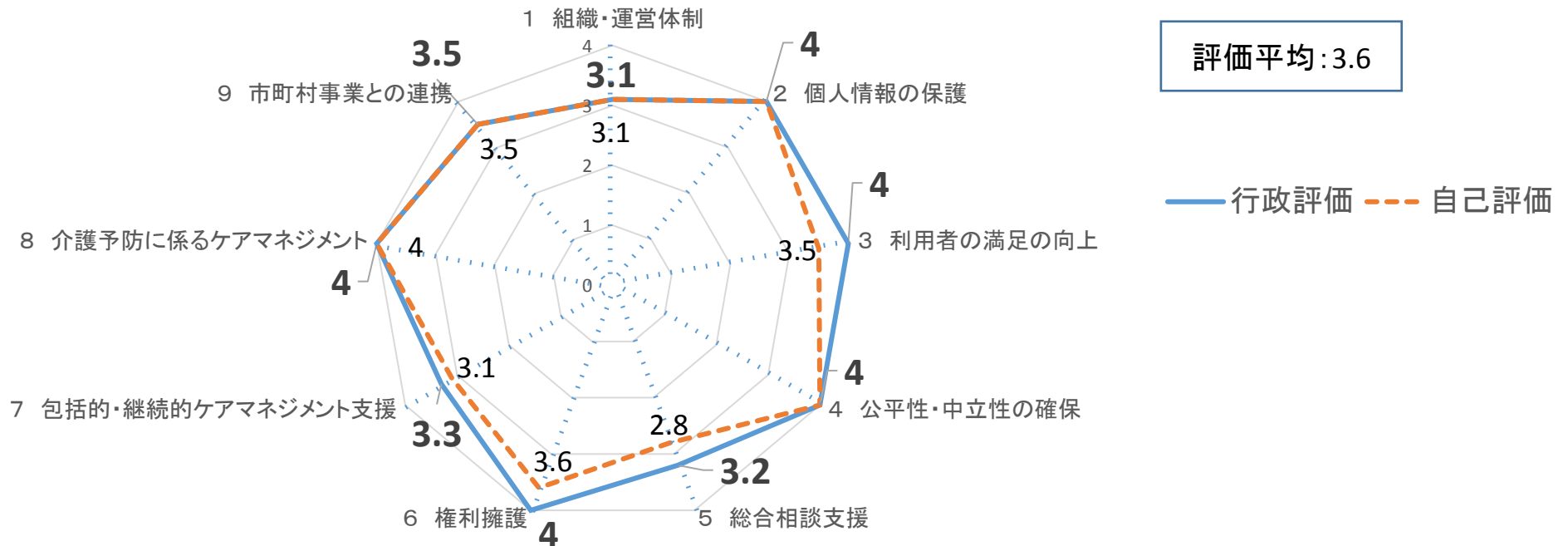
### (2)主な好事例

- ・ 広報誌をカラー印刷に変更し、地域住民の目に留まるよう工夫した。
- ・ ケアマネジャーの医学的知識向上に向けた疾患に基づく事例検討の実施している。

### (3)主な課題

- ・ 新たに圏域となった地区の社会資源のマップやリストの作成や既存の社会資源マップ、リストの見直しが行われていない。
- ・ 地域ケア個別会議や総合相談等からの地域課題の抽出が行われていない。

## ⑪地域包括支援センター浪岡 平成29年度運営評価結果の概要



### 【講評】

(1)総評: 「個人情報の保護」、「利用者の満足の向上」、「公平性・中立性の確保」の取組に強さがあるが、「組織・運営体制」、「総合相談支援」の取組が他に比べてあまり強くない。

### (2)主な好事例

- ・ 消費者被害に関する相談や情報があった場合は、圏域内全事業所に対してFAX等で情報提供している。
- ・ 日常生活圏域ケア会議で交通手段に関する課題をとりあげ、バス停の設置につながった。

### (3)主な課題

- ・ 前年度の事業計画の評価がされていない。
- ・ 社会資源のマップやリストの見直しが行われていない。
- ・ 圏域のケアマネジャーの課題の分析がされていない。

# 平成29年度青森市地域包括支援センター運営評価結果のまとめ

## 全体を通じた講評

- 平成29年度運営評価の結果、全ての地域包括支援センターにおける行政評価の平均点は3.0（4段階評価の3）以上となっており、全てのセンターにおいて、センターとして求められている役割が果たしているものと評価できる。
- 地域ケア会議での支援困難ケースの支援方法の検討やケアマネジャー向けの研修会開催等によるケアマネジャー支援や介護予防の運動の場づくりや出前講座などの地域に出向く活動が増加している。

### 〈ケアマネジャー支援の実績〉

内容	28年度	29年度	増加率
ケアマネジャーへの支援回数	893回	1089回	1.2倍
地域ケア会議の開催回数	103回	144回	1.4倍

### 〈地域での活動実績〉

内容	28年度	29年度	増加率
地域での活動回数	757回	907回	1.2倍

## 今後の課題と業務改善等の実施方針

- 今後の課題
  - ・ 社会資源マップやリストの更新
  - ・ 専門職、地域住民双方への権利擁護に関する普及啓発活動
  - ・ 地域課題の抽出と地域課題を検討する日常生活圏域ケア会議の開催
- 業務改善等の実施方針
  - ・ 個人情報保護及び苦情処理に関するマニュアルに関する雛型の作成
  - ・ 地域包括支援センター連絡会などの場を活用した好事例・課題の共有と連携強化